

平成25年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(戦略策定支援事業)

No.	都道府県名	補助申請者名	実施プロジェクト名	概要
1	北海道	(株)三好製作所	北海道発キッチンウェアブランド確立・海外販路構築プロジェクト	北海道で生まれた保冷剤一体型ランチボックスを中心としたキッチンウェアを国際市場に投入するため、欧州・北米・アジア各地域別の市場調査、展示会視察を実施するとともに、ブランド戦略・販売戦略を策定し販路開拓を行う。
2	北海道	(社)北海道食品産業協議会	ロシア極東地域の水産資源を活用した「クロスオーバー道産ブランド」確立プロジェクト	原料調達元をロシア極東地域に拡げ、北海道が誇る水産加工技術を活用し、従来の道産原料使用品と遜色のない製品や、原料の特性に合わせた加工法による新たな製品を、原料調達元及びその周辺地域に逆輸出する。
3	茨城	公益財団法人茨城県中小企業振興公社	茨城-銚田産地ブランドアップ振興プロジェクト	震災以降、放射線風評被害の影響を受けている全国2位の農業産出額の茨城県、その中核である銚田市を中心とした農産物・加工品等の海外でのブランドアップ・販路開拓を目指し、風評被害の払拭や地域の活性化を図る。
4	茨城	北茨城市商工会	「茶道と日本人の心」を発信する「五浦天心焼」プロジェクト	北茨城市から世界を見つめた岡倉天心に影響を受けた五浦天心焼陶芸家・陶器販売事業者が中心となり、「五浦天心焼」を新たな海外向け資源として確立させる。具体的には、岡倉天心と茶道をテーマにした器を海外に発信し、縮小していく国内市場に代わり、海外市場を獲得していく。
5	群馬	群馬県達磨製造協同組合	Re達磨プロジェクト	達磨の伝統的な張り子技術を応用したデザインによる家具・雑貨等の製品を選定し、その製品がフランスを中心とするEU諸国で販売可能かどうかを検証すると共にマーケット調査を行い、今後の海外展開の戦略を策定する。
6	群馬	桐生織物工業組合	「織物産地桐生」の産地ブランド構築に向けた、アメリカ市場での市場調査	国内有数の織物産地桐生の高度な製織技術を用いて作られた、付加価値の高い製品群を和洋両面で集め、アメリカ市場において、製品及びテキスタイルの市場開拓やブランド化が可能かどうか、戦略的な市場調査を行う。
7	埼玉	狭山商工会議所	「狭山茶」海外ブランディングプロジェクト	「狭山茶」の希少性や独特な製法(狭山火入れ)を売りに、「OCHA:オチャ」という新しいカテゴリを確立し、「お茶を飲む文化」とともに海外でブランディングするプロジェクト。
8	千葉	千葉県貿易協同組合	組合『COTCAブランド』創造プロジェクト	本件は委員会を設置し、組合ブランド統一ロゴの作成及び組合員業種のカテゴリーごとに4分類(食品、民工芸品、工業用品、技術)して、組合員製品の海外販路拡大の可能性を探る市場調査等を実施して戦略策定をする。
9	東京	木本硝子株式会社	「江戸切子とモダンライフスタイルの融合。東京硝子プロジェクト」	東京に息づく伝統硝子工芸技術と現代のライフスタイルを融合し、東京発のガラスウェアブランドとして、欧米市場への販路拡大を図るために欧米諸国にて市場調査を行い基本戦略や商品コンセプトを構築する。
10	東京	J-kanagata 事業協同組合	J-kanagata のブランド化事業	金型産業をはじめとした裾野産業(参画事業者)による「競争力ある輸出金型つくり」コンセプトを完成させ「J-kanagata」としてブランドを確立するための現状の問題点を整理し、その解決方法、販路拡大方法を検討し、ブランドコンセプトと基本戦略を具体的に策定する。
11	東京	特定非営利活動法人 八丈島産業育成会	東京諸島本格焼酎東南アジア普及戦略プロジェクト	幕末に流人が伝えた八丈島焼酎は日本の伝統文化である。八丈島、青ヶ島等で数多く生産されている東京諸島の焼酎の魅力を高め、世界に通用するブランドとするため、そのコンセプトを明確にし、基本戦略を策定する。
12	長野	一般社団法人小布施町振興公社	小布施グローバルブランド実践プロジェクト	「全国有数の果樹産地」、「江戸時代から6次産業を実践してきた」という2つの地域特性を活かし、国内外の市場に詳しいバイヤーへのヒアリング調査、加工品開発の専門家による加工品開発指導を通して、基礎戦略を策定する。
13	新潟	にいがた雪室ブランド事業協同組合	雪室熟成食材「越後雪室屋」の海外ブランド事業の構築	新潟県内の食品製造販売事業を営む中小企業の連携による新潟県の地域資源である雪室を活用して熟成された新潟県地域食材の「越後雪室屋」ブランドの共同販売政策及び「越後雪室屋」ブランド確立による国内及び海外展開プロジェクト。
14	富山	発酵王国いしかわの海外展開グループ	日本の発酵食品の魅力の世界に発信！～三大発酵食品「かぶら寿し」「いしり」「ごんか漬け」を世界に～	石川の三大発酵食品である「かぶら寿し」「いしり」「ごんか漬け」を、台湾の消費者やバイヤーに向けてPRを行い、商品の評価を得て、台湾における日本の優れた発酵食品の販路開拓の可能性を探る。
15	富山	社団法人 富山県繊維協会	とやま繊維海外販路開拓プロジェクト	富山地域の伝統基盤産業である繊維産業は多段階分業構造で、「編織」「染色・加工」「縫製」など、それぞれの企業は優れた技術力を持っているが総合的に欠け販売面での自主性を欠いている。そこで、各社の保有する機能を有機的に結合させ産地の総合力を結集して国際競争力を高め、世界に通じる新たな価値創造「とやま産繊維ブランド」として海外展開戦略を策定し、海外の成長マーケット等での市場開拓を目指す。
16	石川	石川ブランドPT 株式会社ヒロ	石川ブランドの世界発信 ～新しい日本の伝統の創造～	石川の伝統工芸技術を活かしつつも、現代生活に新鮮さや興味を引き立てる「石川ブランド」新製品が、ニューヨークの消費者やバイヤー等に対し「新しい日本の伝統の創造」を発信するための可能性を検証する。
17	石川	社団法人 石川県食品協会	食品王国いしかわブランド海外展開事業	いしかわの豊かな食材を活かした商品、伝統の技と心を継承した食品づくり、いしかわの風土に根付く安全安心、健康で熟成された商品など石川の食文化から創造された「食品王国いしかわ」の食品は、伝統的食品を中心として、食材による差別化はもとより伝統的な製法により高い評価を得ているものが多い。日本食の文化の世界への浸透が進むなか、ムスリム市場進出を展望し、国策の一つとして「グローバル・ハラル・ハブ」を推進するマレーシアにおける和食文化の加質料理の紹介を通じて石川県産食材の販路開拓を目的に、試食会と商談会開催に向けた事業展開・市場参入の可能性を調査する。
18	石川	株式会社 青郊	欧州名門陶磁器メーカーと九谷焼の絵柄・造形の連携可能性調査	九谷焼の特徴である絢爛豪華なデザイン、上絵技術について、欧州陶磁器メーカーとの連携による活用可能性を探索するため、国内及び海外調査を実施する。

19	福井	株式会社日本エー・エム・シー	SAKEKASU商品化・海外販路拡大プロジェクト	「酒粕」という日本独特の文化を活用した食品、ドリンク等を海外向けに開発し、美容・健康志向である海外マーケットに売り出し、酒粕食品ブランドを海外にアピールすることを今回の狙いとする。
20	滋賀	株式会社AMMY	近畿の日本酒ブランドグループで、インド市場開拓プロジェクト	滋賀・京都・大阪・奈良の日本酒の国際ブランドグループ「和醸(仮)」確立によるインドへの販路開拓。酒蔵や水田・伝統芸能見学を含む「酒蔵ツーリズム」で日本酒文化啓蒙と共に観光客誘致による地域経済活性化の実現。
21	京都	株式会社サビア	デジタルミュージアム海外FS(事業可能性)調査	本コンソーシアムは文化財デジタル化、表示、コンテンツ制作等の技術が優れている。これら技術を用いたデジタル企画展の事業化に向け、米国でFSを実施する。具体的には、日本文化財をデジタル展示コンテンツ化し、米国の美術館でデモ展示を行う。現地学芸員や展示企画会社らと意見交換し、購入意向を分析する。
22	和歌山	中野BC株式会社	UME World Project(～梅の世界観を海外に発信～)	梅干や梅酒など梅を利用した食品は多い。和歌山は高級梅「紀州南高梅」の産地で、日本で最も梅産業が広がっている。梅食品は国内ではブランドとして認知され、一定の評価をいただいているが、海外ではあまり認知されていない。梅干については、海外市場は未開拓で、梅酒はなんとか海外に輸出されているが、まだまだ開拓の余地は高い。 ヘルシーな健康食品としてのブランド化を推進し、食の展示会があるイタリア、ドイツ、和歌山とゆかりの深いトルコにおいて、梅食品の輸出戦略を策定、高級食品として販路開拓を推進する。
23	広島	NPO法人中小企業ビジネスエンジン支援会	広島の本気を海外に魅せるプロジェクト	複数の異業種の中小企業が連携し、それぞれのノウハウと強みを結合し、未来に通じ世界に通用する製品及びシステムの開発を行う。
24	福岡	糸島のめぐみ事業協同組合	Kyushu糸島ブランドによる輸出体制の構築	福岡県糸島市は、200万人が暮らす福岡都市圏への食材供給都市の役割を担っているが、農商工連携の実現で優れた加工食品を製造しており、これら食品の輸出を実現することで世界に通用する農商工連携を実現する。
25	宮崎	宮崎ミロク協同組合	みやざきスギの韓国におけるブランド戦略策定プロジェクト	全国1位の生産量を誇る「みやざきスギ」をブランド化し、韓国に向けて発信していくための戦略策定委員会を設置する。また、マーケティング調査を実施し、次年度に向けたアクションプランを策定していく。
26	鹿児島	薩摩川内市商工会	薩摩川内ブランドのアジア進出販路開拓プロジェクト事業	薩摩川内市内は、原子力発電所の稼働停止並びに3号機建設中止と富士通の工場撤退等により、地域経済は大変厳しい状況である。商工会は、平成21年度より全国展開事業を展開して、薩摩川内ブランドを作り上げました。今年度からは、将来の海外展開も視野に入れ、台湾をはじめ、アジア諸国へ販路を開拓するための基本戦略を策定します。

平成25年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧 (ブランド確立支援事業(1年目))

No.	都道府県名	補助申請者名	実施プロジェクト名	概要
1	北海道	(一社)千歳観光連盟	台湾への販路拡大と新たな旅行商品造成による地域経済活性化プロジェクト	北海道産食品の品質の良さ、安全性は台湾では確固としたものになっており、更なる道産食品の普及、促進を喚起していくため、テスト販売及び流通商談と食品ツアー等を企画し、経済の活性化と食品産業振興を図る。
2	北海道	(一社)シーニックバイウェイ支援センター	北海道産ワインとチーズの国際ブランド確立による中国等への販路拡大と「北海道チーズ&ワイン街道」への観光客誘致による地域経済活性化プロジェクト	中国等アジア圏の富裕層をターゲットに、北海道のイメージとともに希少価値の高い北海道産チーズ & ワインの市場拡大を目指した海外向け商品開発を行うとともに、インバウンドの拡大に向けた広報展開等を実践する。
3	宮城	末永海産株式会社	石巻復興「日高見の国ブランド」輸出プロジェクト	東日本大震災で大きな被害を受けた石巻の水産加工業者が統一ブランド「日高見の国」を作り、「三陸の海の復興は日本の再生」を旗印に、新たな販路として海外市場への輸出を目指す。
4	宮城	農業生産法人株式会社 GRA	宮城県山元町産イチゴの海外展開プロジェクト	日本でブランド確立したミガキイチゴをインド共和国・サウジアラビア王国で日本の養液栽培方式を導入し栽培する。おいしく安全な日本産イチゴとしてブランド化し新たな高級イチゴ市場を創出する。
5	福島	福島県酒造協同組合	日欧コラボレーション！北欧における日本酒飲用文化創造プロジェクト	福島県が世界に誇る各地の酒蔵と北欧のパートナー・関連企業との協働により、北欧の食文化における日本酒のポジションを確立する。ひいては日欧両地域の振興・雇用創出や友好・協力関係の構築への一助とする。
6	東京	公益財団法人大田区産業振興協会	下町ポプスレーによる中小製造業の海外販路開拓プロジェクト	東京都大田区の中小製造業の基盤技術ネットワークを生かしてポプスレーそりを制作かつ冬季五輪に出場し、その報道や海外展開出店を通じて技術・企画開発力をPRし、航空宇宙や医療機器関連などの市場開拓を図る。
7	東京	株式会社KEN OKUYAMA DESIGN	世界に通用するデザインと日本の匠を活かした高付加価値少量生産車の企画製作及びその効果的な世界市場への情報発信	高付加価値少量生産車というテーマを世界に通用するデザイン&コンセプトマーケティングと日本の匠により実現。具体的にはGM、ボルシェ、フェラーリ、マセラティという世界最高峰の市販車のデザイン&コンセプトマーケティングを経験した唯一の日本人、奥山清行率いるKen Okuyama Designをプロジェクトリーダーとして、高品質少量生産で世界的レベルの技術と経験を持つ名古屋地区、大阪地区、御殿場地区の各メーカーとの協業で、高付加価値スポーツカーを製造する。
8	東京	株式会社 天賞堂ジー・エム	伝統工芸文字盤腕時計海外市場開拓プロジェクト	日本全国の様々なジャンルの工芸技能者(事業所)の技を駆使して製作した腕時計用文字盤を選りすぐり日本の伝統工芸技術の素晴らしさを腕時計に組み込み表現して海外市場を開拓する。
9	東京	一般社団法人ジャパנקリエイティブ	ジャパנקリエイティブ	日本の伝統技術、産業、先端技術を持つ地域産業と世界のクリエイターの選定、マッチングを実施、国内外で継続的に発表、海外 メーカー・デザイナー・バイヤーへの日本の技術、創造力のアピールと製品化によるビジネスの確立。
10	東京	一般社団法人日本農業機械工業会	稲作用農業機械のインド市場開拓	日本の稲作用農業機械をジャパンブランドとして確立し、インド市場において競合する欧米・アジアメーカーとの国際競争に打ち勝ち、海外からの継続的な受注・成約を獲得する。
11	神奈川県	協同組合ヨコハマクラシック家具グループ	ヨコハマ発全世界行、クラシック家具ブランド構築プロジェクト	西洋との出会いの地、ミナト・ヨコハマ発祥の横浜クラシック家具が持つ特徴を高度化するとともに、「高品質、実用性、伝統技術」を兼ね備えた高付加価値型クラシック家具商品群のブランド化を図り、欧州をはじめとする海外市場を開拓するために必要な市場調査、海外見本市等出展を行う。
12	長野	公益財団法人長野県テクノ財団	DTF(DesktopFactory)研究会ブランド構築事業	DTF研究会が研究開発した机上サイズの超精密卓上工作機械及びシステムについて、欧州市場で「小さな部品は机上に乗る小さな工場で造る」というコンセプトを強力に発信しブランド力確立と海外販路拡大を図る。
13	新潟	有限会社花水農産	魚沼十日町産コシヒカリの『ヘルシーライスコロッケ』で世界中をヘルシーに！	日本の地域特産品ブランドNo.1「魚沼産コシヒカリ」。昨年度の『コンヒカリまなまロール』の成功を活かし、日本の米文化と欧米のパン文化を融合させ、地元の魚沼十日町産米と野菜、クルミなどをふんだんに使ったライスコロッケを開発、アメリカへの市場開拓を行う。
14	愛知	西陣帆布・西陣カーボン普及協議会	西陣帆布・西陣カーボン普及プロジェクト	西陣帆布・西陣カーボンとは、産業用、商業用に幅広く利用されているテントの製造技術に、日本を代表するきもの生地「西陣織」の技術を生かして作られた、意匠性・機能性に優れた新たな生地である。その市場展開可能性を探るため、JAPANブランド育成支援事業戦略策定事業に引き続き、海外市場調査、デザイン開発、試作品設計、試作品製造/加工、製造機器の改造、産業財産権の取得、等を実施する。
15	愛知	株式会社 丸杉	プロジェクト名 着ることのできる柔らかい純金の布製品 世界発信プロジェクト	世界一薄い日本の金箔と呉服に用いる伝統技術を発展させ世界で初めて柔らかさを保った純金の布の開発に成功。その「着ることのできる程柔らかい純金の布」を用い高付加価値商材としてブランド化し発信する。
16	愛知	株式会社グルメストーリー	JAPAN PREMIUM ～イスラム市場へ新たな食文化の創造～	日本製のおいしいドレッシング(ソース)をイスラム市場の富裕層に向け商品化し、販売していきます。「ハラール認証」を取得することでイスラムの戒律をクリアした商品であることを遵守し、世界販売を行います。
17	愛知	三星毛糸株式会社	プロジェクト名 尾州「TASAI」プロジェクト	繊維産地「尾州」において技術カトップクラスの企画/織/編/加工の中小企業が結集(多才)し、その技術を活用した「多彩インターシャ」や「広幅KIMONOシルク」などを中心とした衣料生地コレクション(ドレス、ジャケット、アウター向け等)およびファッション小物(マフラー、ストール、バック等)を海外マーケットに通用するブランドとして構築、海外リサーチ(展示会/個別ラウンド等)を通して欧州高級ブランドを起点に海外販路の拡大を図る。

18	愛知	NPO法人日本純米酒普及協会	純米酒海外普及プロジェクト	世界中に対して、日本の文化たる日本酒の普及に関する事業を行い、日本酒の普及に係る問題の改善や解決を図り、日本酒の中でも特に伝統的な製法の純米酒に関する理解の向上と消費・輸出の増進に寄与します。
19	福井	漆活用ビジネス海外ブランド化協議会	Rebirth Japan ～漆を中心とした伝統工芸再生プロジェクト～	「直して使う」をメインコンセプトに掲げた漆工芸、漆製品の再ブランディングと美的再生哲学に基づいた伝統工芸ブランドの確立
20	京都	京都試作ネット	The World SHISAKU Valley Project	京都試作ネットが得意とする「丁寧できめ細やかな試作加工」技術を活かし、成長分野(医療・エネルギー・航空宇宙)における試作開発ニーズの掘起しと試作品開発、欧米の展示会出展を行なうことで、京都試作ネットのブランド力の確立と新たな顧客の創造を目指す
21	京都	関西伝統技法倶楽部	関西伝統産業革新プロジェクト Re-innovating kansai brand and crafts	伝統産業に関わる企業が「伝統技法」を活かした製品のグローバル展開を行うため、イギリスで活動するデザイナーらの協力を得て、新たな製品のデザイン、ブランド戦略、営業活動をするための調査及びネットワーク作りを行い、イギリス市場からブランド(製品)販売と情報発信を始め、ヨーロッパ、アメリカ、アジアと拡大を目指す。
22	福岡	福岡県中小企業団体中央会	『九州のふく』海外展開プロジェクト	九州で獲れるふぐを海外でブランド化し、高級食材として、また日本の調理技術を駆使した加工品として段階的に輸出する。さらに観光をからめたパッケージとしての商品化を目指す。
23	鹿児島	鹿児島県商工会連合会	“奄美の黒糖焼酎と食文化”ジャパンブランド化展開事業	鹿児島県本土の南に広がる奄美群島は、長寿日本一であった故泉重千代翁が在っていた徳之島を含め「長寿・子宝」の島々として知られており、黒糖焼酎や鶏飯など独自の食文化を形成している。今回はこの黒糖焼酎を柱に据え、焼酎のあてとなる食を含めた特色ある奄美の黒糖焼酎・食文化をアジア・ヨーロッパ向けに展開しジャパンブランドとして確立する。

平成25年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(2年目))

No.	都道府県名	補助申請者名	実施プロジェクト名	概要
1	北海道	旭川商工会議所	旭川クラフトダイヤモンドライフプロジェクト	欧米やアジアでの需要調査結果を踏まえ、旭川クラフトのブランド化に向けて製品開発(改良)、情報の発信・収集を実施する。展示会への継続した出展により、パイヤーの信頼を得るとともに、キャラバンの実施、マーケットニーズの把握や商品開発などの意見交換を行い、旭川クラフト全体のブランド力を高め、販路拡大を図る。
2	北海道	沼田町商工会	北海道沼田町の雪中米&雪中野菜商品発信プロジェクト	世界初の省エネ&エコロジーな雪の冷熱エネルギー産業活用による、独自の保存技術で生まれた高品質米「雪中米」を中核とし、雪中野菜等の沼田町の特産品を活用した加工食品について、米国市場での販路開拓を行う。
3	北海道	(一社)北海道中小企業家同友会とかち支部	北海道十勝の「食」観光資源を売り込む東南アジア販路開拓プロジェクト	「北海道十勝」の魅力ある食資源をシンガポールを中心に東南アジアへ売り込む。東南アジアの拠点であるシンガポールで、十勝の食材をふんだんに使った試食会および商談会を行う。また、シンガポールとインドネシアの消費者の嗜好性を知るためのテストマーケティングを行う。
4	岩手	一般社団法人 安代リンドウ開発	海外市場での「安代りんどう」ブランド定着化事業	アジア・北米の花弁消費者層に対し、日本の花「安代りんどう」をブランドとして定着させるため、専門家を招聘の上、展示会・楽しみ方を教育するワークショップの実施、日持ちの良さや美しさを伝えるポスターの配布など一連の広報活動を通じた事業展開と香港・シンガポール試験販売を実施する。
5	栃木	有限会社小池経編染工所	両毛シルクワールド・プロジェクト	両毛産地は栃木・群馬両県の県境に存在し伝統的なシルク繊維産業が残る地域である。本事業では、産地の製造業者が連携して欧州市場で販路を持つ商社と最新情報を共有し、新たな戦略商品を開発して継続的な販路を確保して販売する。
6	埼玉	社団法人さいたま観光国際協会	『大宮盆栽』海外展開プロジェクト	欧米を中心に高い知名度を誇りながら、検疫等の障壁により輸出量が停滞している「大宮盆栽」ブランドの再構築と定着、本格的な輸出体制を確立する。さらに盆栽の世界的普及に伴い、欧米などで技術レベルがあがっている中で、プロモーションの強化、ならびに盆栽文化の普及啓発や育成技術の紹介なども通じて、日本の盆栽の技術の高さ、素晴らしさをアピールすることで、改めて「盆栽」＝「日本の文化」であるというステータスを確固たるものにし、もって大宮盆栽の輸出促進を図る。
7	神奈川	YSEC株式会社	NIIGATA SKY PROJECT	新潟市及び周辺の中小企業が航空機産業参入に向けて各社及び地域の技術力の成果として、小型無人機用ジェットエンジンを開発し、今後はそれを搭載した環境対応型先進無人飛行機の開発と販路開拓に取り組む。
8	神奈川	特定非営利活動法人アジア起業家推進機構	日越金型ブランド化事業	金型産業を始めとした裾野産業(参画事業者)が、今後ベトナム南部(特にバリア・フンタウ省)に進出し成功するための進出し易い環境の整備や進出課題を解決し、高い品質をイメージするJAPANブランドによる販路の拡大を図っていくとともに今後は参画事業者だけではなくひろい範囲の事業者に声をかけて日本の裾野技術をベトナムを中心としたアセアン各国に展開していく。特にバリア・フンタウ省に出来るダバク日系企業専用工業団地をベトナム・日本との懸け橋的な工業団地として超優遇税制による優位性と立地性及び低価格と日系企業専用というワンストップサービスの充実を目指して行きます。
9	新潟	燕商工会議所	デザインによる地場産品の高付加価値化とヨーロッパへの販路開拓	燕の持つ優れた金属加工による地場産品を世界に向けて発信していくため、フェラーリ、マセラティなど、ヨーロッパの自動車のデザインを手がけた奥山清行氏のプロデュースにより、カトラリーなどテーブルウェアのデザインをし、サンプルを試作してヨーロッパの主要見本市に出展し燕としてのブランド展開と販路開拓を行う。
10	静岡	(株)フードランド	農業産業化・地域活性化を実現する「Mikkabi」ブランド海外展開事業	当該事業では既に国内でブランド化に成功した三ヶ日みかんを素材として高い商品開発力を有する国内の食品関連中小企業と連携しALL-JAPAN体制で三ヶ日みかんブランドの海外展開と地域活性化の実現を目指す。
11	岐阜	土岐市陶磁器卸商業協同組合	日本文化として「美濃焼」を提案することによる東南アジア地域への販路開拓事業	東南アジア諸国を中心とした海外市場に日本食と和食器とを合わせた総合的な日本文化を発信することによる「美濃焼」の新販路の開拓を行う。
12	石川	株式会社繊維リソースいしかわ	世界市場に通用する【かなざわブランド】(合繊長繊維テキスタイル商品)の構築支援事業	①商品の差別化により、“非価格競争力”の強化に取り組む。 ②創出された商品を販促に繋げる仕組み作り。 ③海外への販売経路の整備・確保 ④世界レベルの総合的競争力を構築して唯一無二の商品づくりを行う。 以上①～④を狙うものである。
13	兵庫	新播州企画	オセアニア及びアジア市場開拓プロジェクト	オーストラリアをターゲットに、播州織製品の輸出振興を目的とし、新たな販売スタイル、現地風土に鑑みたトレンド研究や需要背景の現状調査等、創造の知価値実現の可能性についての研究開発並びに、播州織製品のブランド化とターゲット国に向けた情報発信を行い、輸出販路の開拓等新しい物流システムの確立を進める。
14	和歌山	和歌山ニット工業組合	JKWブランド確立事業(2年目)	和歌山はニットの一大産地であり、また撚糸、染色、縫製等繊維産業も多い。国内需要縮小・中国やトルコ等の台頭等、社会の変化に対応するため、和歌山のニットブランドを確立し、ヨーロッパ、米国を中心に海外への販路開拓を行う。
15	鳥取	有限会社自然堂(トトリプロダクツ協議会代表企業)	ヨーロッパ市場に向けて地域資源を活用した「吉田璋也ルネッサンス」	鳥取の貴重な人文地域資源である「吉田璋也」が過去におこなったデザイン運動を今日的に見直し、鳥取の地域資源を活用して世界に通じるブランドの確立を目指すとする。 25年度はブランド確立の2年目であり、和紙と陶器を融合させた作品にする。
16	広島	府中家具工業協同組合	ヨーロッパ進出に向けた府中家具ブランド構築事業	最先端のデザインの発進地であるイタリアのミラノで活躍されているデザイナーと組んで商品開発を行うと同時にミラノ市内で展示発表会を開催し、販路開拓と府中家具ブランドのイメージアップを図る。
17	山口	山口県中小企業団体中央会	日本の伝統文化を加味した「萩焼海外展開プロジェクト」	萩焼の魅力を高めて中国のマーケットで通用するブランド力を確立するため、開発を行った試作品を中心に富裕層をターゲットとした展示会及び市場に流通させるための商談会を中国で開催するとともに、台湾から中国本土へ萩焼輸出のルートを構築していく為に台湾においても同様に実施する。

18	福岡	北部九州欧州販路開拓プロジェクト研究会	MOJIDECO～ものづくり九州！ 世界を拓くブランド戦略プロジェクト～	大手メーカーの下請けとして優れたものづくり技術を継承している中小企業と、九州で育まれたクラフト作りをしている作家が共同体を形成し、それぞれが持つ技術力を活かして、九州から世界へ魅力的なブランド商品を発信するもの。
19	福岡	チーム防人	チーム「防人」による住まいの防災・安全対策商品の中国及び東アジアを中心とする、アジア全域・ヨーロッパ市場への展開プロジェクト	5社によるプロジェクトチーム「防人(さきもり)」を結成して、アジア全域・ヨーロッパ市場に日本製の防災および安全対策商品の普及・販売することを目的とする。
20	熊本	くまもと南園の匠協同組合	熊本ベジフル&フィッシュ海外市場開拓プロジェクト	農水産物・加工食品などの経営資源の付加価値の向上を図るため、東アジアの消費市場及び富裕層をターゲットとした国際産直、宅配事業、観光交流等の展開にむけた市場調査、輸出向け商品の開発、販路開拓等に取り組む。
21	宮崎	十和音会	十和音会(6社共同体)による世界に誇る和酒ブランド「J-Chord」輸出促進事業	九州・沖縄圏の6蔵による世界共通ブランド「J-Chord」は清酒、焼酎、リキュールなど酒の全体像と各地域の多様性を武器に欧州ワイン市場の中にローカライズするために開発された。決定的な差別化商品により海外市場開拓を目指す。
22	沖縄	特定非営利活動法人沖縄緑のカーテン応援団	廃ガラス再資源化資材「スーパーソル」を用いた環境改善システムの提案	島嶼圏である沖縄の地域性から必然的に生まれた再資源化の中でも事業性が難しいとされた廃ガラスを生かして製造された「スーパーソル」を活用して地球温暖化対策に寄与する技術の確立や海洋環境の保全、化石燃料を使うことなく畜産排水の処理する技術、雨水を活用した淡水の確保などの独自システムを活用した緑化の推進を目的とし、古の琉球時代に学び「大航海時代」を支えた東アジア・東南アジア・太平洋州の国々に紹介し普及活動を行い、地域循環型社会構築のモデルを構築し、環境保全に貢献できるJAPANブランドの確立を目指す。平成24年度の調査で、新たな出会いがあった小型風力発電についても循環型社会構築の一環として、自然エネルギーへの転換一翼を担う技術開発を進め、沖縄から発信するJAPANブランドの確立を目指す。
23	沖縄	「ISHIGAKI Natural Seasonings」ブランド創出プロジェクト協議会	生命の海・癒やしの島から「ISHIGAKI Natural Seasonings」ブランド創出プロジェクト	石垣の「海」(ミネラル)と「島」(農産物)の融合で、地域独特の自然の力を引き出したプロダクトを展開する。商品戦略としては、ピパーツ(島胡椒)に象徴される地域産の素材と既に一定の市場を確保している地域ブランド「石垣の塩」を活用した新商品を開発。これを基軸として世界に通用する石垣オリジナルの「天然素材調味料」ラインナップを創り出す。

平成25年度「JAPANブランド育成支援事業」採択プロジェクト一覧
(ブランド確立支援事業(3年目))

No.	都道府県名	補助申請者名	実施プロジェクト名	概要
1	北海道	(一社)北海道農業機械工業会	北海道の優れた畑・野菜用農業機械のヨーロッパ市場販路開拓プロジェクト	3兆円の市場規模を有するEUの農機市場に参入するため、世界各地からディーラー等が訪問する農業機械展AGRI TECHNICA 2013(ドイツ)へ出展し、メンテナンス体制を含めた有望なディーラーとの連携や、ビジネスマッチングにより販路拡大を図る。
2	東京	(社)日本金型工業会	「AAA+A KANAGATA」ブランド確立プロジェクト	「AAA+A KANAGATA = トリプルエー・プラス・エー金型」を金型ジャパンブランドとして確立することにより国際競争に打ち勝ち、海外での販路拡大を果たし新規顧客を獲得する。
3	新潟	(財)燕三条地場産業振興センター	燕三条プライドプロジェクト	他の地域の人にも誇れる地域ブランドづくりという思いを込めて名称を「燕三条プライドプロジェクト」としている。このプロジェクトは、燕三条に住む私達自身が、地域への誇りと愛情を自覚して、燕三条のライフスタイルに魅力を感じる人達が全国から燕三条を訪れ、訪れた人たちの評価を通して、より高い誇りと愛情を燕三条に感じるといった誇りの拡大再生産を目的とし、「オーガニックな農業、オーガニックな工業、グッドデザインでライフスタイルを創造」、「燕三条ならではの観光戦略」、「燕三条という呼称の推進」を主要コンセプトとしている。昨今の地域を取りまく厳しい経済状況に対して、三条市、燕市、両市商工会議所、商工会、地場産センター及び約80名の地域の有志が協同で、新製品、新技術、新ビジネスモデルなどに対し、燕三条ブランドとしての認証を進め、海外展開を図るグループと地産地消のレストラン経営を目指すグループ、またあるきや産業観光の推進に取り組むグループが産業界の連携により、地域全体のブランド化に取り組む。
4	新潟	日本金属ハウスウェア工業組合	金属ハウスウェアブランド育成プロジェクト	金属ハウスウェア関連製品をロシア国内とEU圏の展示会に出展し、より一層の需要喚起を促進させると共に「茶器セット」の改良試作を実施する。
5	愛知	中部製粉工業協同組合	きしめん・でら・パスタ計画	「きしめん」の特長を生かして日本の食文化の新しい価値を創造し、麺大陸のアジアや日本ブームの欧米へ販路を開拓し、国内市場にも明るい話題を提供して、名古屋きしめん文化の再興の起爆剤とするプロジェクトである。
6	岐阜	Re-mix Japanグループ	『Material & Design from Japanライフスタイル提案』ブランド育成事業	伝統的産業の産地の垣根を越えた異業種(飛騨の建具、飛騨の家具、飛騨春慶、美濃焼の陶磁器、岐阜の織物、美濃和紙、富山のガラス家具、大阪の室内意匠材)との連携により、各企業が蓄積している独自の素材の専門力と今日的なデザイン力、さらにオーダー対応力をアピールするために、複合的な素材開発に力点を置き、ワンテーストの日本の伝統美と現代的調和のある暮らしを内包する新しいトータルライフスタイルコレクション(素材+製品の集積)を創出する。その開発成果を第1回「メゾン・エ・オブジェ アジア」(シンガポール開催)等に出展し、世界の市場で最も注目されているアセアン諸国のプレスクリプター(建築設計者などの専門家)をターゲットにした海外市場販路開拓を実施することでブランド化を目指す。
7	富山	高岡銅器協同組合	高岡銅器新ブランド構築プロジェクト<チームKANAYA>	「高岡銅器の高い技術」と「世界で活躍するクリエイターの先進的な発想」によって、現代のライフスタイルで求められる新たな商品を開発し、高岡発のインターナショナルブランド「KANAYA」を作りあげ、国内外マーケットにおいて流通拡大を目指す。
8	石川	財団法人石川県産業創出支援センター	石川県内航空機部品モノづくり中小企業の海外展開支援プロジェクト	今後の成長が見込まれる航空機部品産業への新規参入、海外展開を目的に業界動向に関する企業視察調査、ミーティング・研究会の開催、Nadcapの認証取得、国内外展示会への出品、販路開拓・訪問調査などを行います。
9	兵庫	公益財団法人神戸ファッション協会	Channel KOBE (チャンネルコウベ) ~「ファッション都市・神戸」から世界へ~	神戸の中小アパレル事業者が、ファッションビジネスにおけるグローバルスタンダードへの理解を深めるとともに、産地メーカーと連携することにより、世界に通用する「プロデュース・バイ・神戸」商品を企画・製作し、販路を拡大する。
10	佐賀	有田商工会議所	有田焼海外事業推進プロジェクト	オール有田として一本化した海外戦略で新製品開発や海外販路開拓を行い、世界に通じる有田焼ブランドを確立し、有田の産業再生・地域活性化を確立する。